

— 平成21年度 —

【募集期間】平成21年6月10日～7月10日

【テーマ】①窓口サービスの向上、②収入の増加、③時間外勤務の削減、④CO2削減の取組み、⑤ごみ減量の取組み、⑥効率的な業務改善

【提案数】18件

【審査結果】下記のとおり

テーマ	提案タイトル	内 容	結 果
収入の増加	市立公園及び市道際に「Cocoベンチ」を募集・設置する	市内公園及び市道際に設置するベンチの寄付を募ることにより、維持補修のための収入を確保し、公園等へ愛着をもってもらおう。	努力賞
	Cocoバスへの広告掲載	本体・車内・運行路線図に広告を掲載することにより、広告料収入を得る。	努力賞
CO2削減の取組	第2庁舎の階段利用の促進	ポスターを各階エレベーター前に掲示し、フロアからの階段案内を表示することにより階段利用を促す。	努力賞
ごみ減量の取組	ごみ分別ボックスの設置	各階の統一した場所を排出場所として、ごみ分別標記を統一して、ごみ分別ボックスと説明パネルを設置し、各課のごみ箱を撤去するなど、市民の目線に立った取組を進め、ごみ分別の徹底を図る。	努力賞
	ごみの分別の徹底	ごみの分別方法について具体例や図解等により分かりやすく示して全職員に回覧し、各階のごみ箱付近にポスターやパネルを表示して周知徹底し、各階に担当者を定めて定期的にチェックすることにより、職員の意識改革等を図る。	努力賞
	無意識から美意識へ	本庁舎・第2庁舎でごみ減量推進委員会を中心に1日のごみ排出量を測定し、分かりやすい分別箱に代えてフロア毎の結果を掲示し、市報等で3か月分を公表することによって、職員の意識向上・ごみ減量・市民へのPRを図る。	努力賞
	My分別箱	A4コピーの空き箱を利用して、不燃・資源ごみの簡単な分別ボックスを作り、自分の机で簡単に分別できるようにすることにより、可燃ごみを減らす。	努力賞
窓口サービスの向上	休日窓口の拡充	定期的にニーズを把握し、試行の上、窓口時間の変更、制度変更への対応を行い、当初の休日窓口の目的に適う形にする。	チャレンジ賞
	クイックレスポンス	市民からの相談等に対して、即答可能な質問に対しては30分以内に回答し、時間を要する場合は、処理までの目途、担当者等を伝え、業務の効率化及び職員の意識改革を行う。	チャレンジ賞
収入の増加	駐車場等の賃借	本庁舎駐車場等を民間業者へ貸し出すことにより、コスト削減、収入の増加を図る。	チャレンジ賞
CO2削減の取組	エコ発電助成金制度	太陽光発電パネル、燃料電池の購入者に対し、その発電量(kW)の大きさに応じて、市が設置費用を助成することにより、CO2削減及び意識啓発を図る。	チャレンジ賞
	地球に優しく、自分にきびしく！	市施設への太陽光発電の設置、庁舎等に出入りしている弁当屋等への「割り箸お断り」、拠点整備による放置自転車のレンタサイクル利用を行い、ごみ減量及びCO2の削減につなげる。	チャレンジ賞
ごみ減量の取組	紙パック収集場所の設置	古紙分別コーナーにハサミと紙パック回収箱を置き、紙パックを資源として収集しやすくし、燃やすごみを減らす。	チャレンジ賞
	ゼロ・ウェイストへの挑戦	公務員住宅等をモデル地区として、市の負担で生ごみ処理機を設置し、その取組を市報やHPでアピールするとともに、出来た腐葉土を「小金井の土」としてブランド化することにより、生ごみの全量資源化を目指し、環境都市としての市のイメージづくりの足がかりとする。	チャレンジ賞
	ごみの量を知り、各種ごみの減量に取り組む	各フロアでごみ担当者を決め、各課のごみ減量の目標値を設定し、定期的にごみの量を調べて上司(フロア担当者)に報告し、その結果をグラフ等に示し、成果を上げた課を表彰することによって、職員の意識改革等を図る。	チャレンジ賞
効率的な業務改善	市に届く速達便を優先的に取り扱う作業について	速達郵便を受理した際には、すぐに担当課へ電話し、担当課は速やかに取りに行くことや郵便局に速達と普通郵便を分けて市に届けられるか問い合わせることで、当日中に証明書を発行し郵送する。	チャレンジ賞
	顔の見える横断的組織連携の強化	庁内情報システムの職員情報の写真掲載欄に名札の顔写真を入れることにより、話しやすくなり、他部署との連携の円滑化・業務のスピードアップにつなげる。	チャレンジ賞
	選挙事務の効率的運営	毎回、選挙資材を総合体育館に保管せず、各施設で保管することにより、各投票所において柔軟に時間調整し、ビニールシート等の過不足を解消する。	チャレンジ賞